

# 第1章 日常点検

## 日常点検チェック・シート

### 自家用乗用車の日常点検チェック・シート

自家用乗用車の日常点検は、この点検項目についてチェックしてください。

		年 月 日	年 月 日	
点 検 項 目		判定・○×	判定・○×	
1 エンジン・ルームを のぞいてここを点検	① ウインド・ウォッシャ液の量	○	×	
	② ブレーキ液の量	○	×	
	③ バッテリー液の量	○	×	
	④ 冷却水の量	○	×	
	⑤ エンジン・オイルの量	○	×	
2 クルマのまわりを 回ってここを点検	⑥ タイヤの空気圧(含むスペア・タイヤ)	○	×	
	⑦ タイヤの亀裂、損傷および異状な摩耗	亀裂、損傷	○	×
		異状摩耗	○	×
	⑧ タイヤの溝の深さ	○	×	
	⑨ ランプ類の点灯、点滅およびレンズの汚れ、損傷	点灯(点滅)	○	×
汚れ、損傷		○	×	
3 運転席に座ってここを点検	⑩ ブレーキ・ペダルの踏みしろおよびブレーキのきき	踏みしろ	○	×
		きき	○	×
	⑪ パーキング・ブレーキ・レバーの引きしろ	○	×	
	⑫ ウインド・ウォッシャの噴射状態	○	×	
	⑬ ワイパの拭き取りの状態	○	×	
	⑭ エンジンのかかり具合および異音	かかり具合	○	×
		異音	○	×
⑮ エンジンの低速および加速の状態	低速	○	×	
	加速	○	×	
4 その他		○	×	
		○	×	
		○	×	

**まとめ知識**  
RV車 レクリエーショナル・ビークルの略。単なる移動手段としての目的だけでなく、遊びの要素を加味してつくられたクルマをいう。



チェック・シートを使って  
実際に自分のクルマを点検しましょう。

## 自家用貨物自動車等の日常点検チェック・シート

自家用貨物自動車(ライトバン、トラックなど)は1日1回、運行前に日常点検を実施することになっております。ライトバン、トラック、バスなどは乗用車と比べて走行距離も多いことから、クルマの健康状態をしっかりとチェックし、事故を未然に防止するためにも日常点検を行いましょう。

自家用貨物自動車等の日常点検は、この点検項目についてチェックしてください。

		年 月 日	判定・○×	
点検箇所	点検内容		○	×
1 ブレーキ	①ブレーキ・ペダルの踏みしろが適当で、ブレーキのききが十分であること。 ○※〔・ブレーキ・チャンバのロッドのストロークが適当であること〕 〔・ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間が適当であること〕		○	×
	②ブレーキ液の量が適当であること。		○	×
	○③空気圧力の上がり具合が不良でないこと。		○	×
	○④ブレーキ・ペダルを踏み込んで放した場合にブレーキ・バルブからの排気音が正常であること。		○	×
	⑤駐車ブレーキ・レバーの引きしろが適当であること。		○	×
2 タイヤ	①タイヤの空気圧が適当であること。(含むスペア・タイヤ)		○	×
	②亀裂および損傷がないこと。		○	×
	③異状な摩耗がないこと。		○	×
	※④溝の深さが十分であること。		○	×
3 バッテリー	※①液量が適当であること。		○	×
4 原動機	※①冷却水の量が適当であること。		○	×
	※②ファン・ベルトの張り具合が適当であり、かつ、ファン・ベルトに損傷がないこと。		○	×
	※③エンジン・オイルの量が適当であること。		○	×
	※④原動機のかかり具合が不良でなく、かつ、異音がないこと。		○	×
	※⑤低速および加速の状態が適当であること。		○	×
5 灯火装置および方向指示器	①点灯または点滅具合が不良でなく、かつ、汚れおよび損傷がないこと。		○	×
6 ウインド・ウォッシャーおよびワイパ	※①ウインド・ウォッシャーの液量が適当であり、かつ、噴射状態が不良でないこと。		○	×
	※②ワイパの払拭状態が不良でないこと。		○	×
7 エア・タンク	○①エア・タンクに凝水がないこと。		○	×
8 運行において異常が認められた箇所	当該箇所に異常がないこと。		○	×

(注) ※印の点検は、当該自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に行うことで足りる。  
○印の点検は、エア・ブレーキを用いた自動車についての点検を示す。

**まとめ知識**  
あるほど横Gが大きくなる。  
横G クルマが旋回する時に、遠心力によって外側に引っ張られる力。旋回時の半径が小さく、スピードがあるほど横Gが大きくなる。